

N

2016.04.28Vol.598
広報ぬまた 4月号

NUMATA

おめでとう



4/7

沼田小学校入学式

平成28年度町政執行方針概要

未来の「ぬまたに暮らす人たちが 笑顔で暮らせる新しいマチの姿を！」

平成23年の町長就任以来、「町民参加のまちづくり」「今住んでいる人を大切にすること」を町制運営の基本に据えて町民の皆様から寄せられる大きな期待を励みに、多くの町民の声を聴くため、町民の皆様のもとに出向き、ご意見をお聞きする機会を持ちながら、出来る限り誠実に真摯な情熱をもって、第5次沼田町総合計画に掲げた将来像「ずっと『支える』もつと『はばたく』雪国の理想郷 沼田町」の実現、総合計画の前期目標の達成に向け、全力で取り組んでまいりました。

この間、深いご理解と温かいご支援を賜りました議員各位並びに町民の皆様には厚く感謝申し上げます。



3月9日～16日に開催された第1回議会定例会で、金平町長が平成28年度の執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

我が国は、戦後急速に経済発展を達成する過程において、産業構造の変換に伴う70年代以降の人口の移動は核家族化を生み出し、2011年からの本格的な人口減少社会に踏み込んでまいりました。

人口減少を起因とする市場規模の縮小に伴う地域経済の縮小は、地方の人手不足を生み出す要因となり、やがては都市部の衰退につながり、日本の競争力が弱まること必至と見込まれることから、地方からの人

口東京一極集中の解消、若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する、地方で「ひと」をつくり、その「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」をつくるという流れを確かなものにする必要から、「まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定」が義務付けられました。

沼田町においては、人口減少に対応するため、5年後2020年における人口ビジョンの目標数値を、3217人とし、合計特殊出生率の目標を1.5に設定した総合戦略を町内16団体、40名による総合戦略策定推進委員会の協議を経て、昨年10月に5カ年の目標や施策の基本的方向について、沼田町第5次総合計画の後期計画と整合性を持たせた計画として策定いたしました。

2016年の政府予算案において、1億総活躍社会を目指すこととして地方創生と重ねて更なる経済施策の強化を打ち出しておりますが、人口減少対

策の新規事業に対する国の新型交付金は、地方に2分の1の負担を求め、補助事業の要件に先駆的や官民協働、地域間連携、政策間連携が求められており、小規模自治体では単独での取り組みが困難な面があり、先行事例を参考に連携の枠組みなど実効性を優先し取り組んでまいりたいと考えております。

昨年10月に大筋合意されたTPP「環太平洋連携協定」においては、重要農産品5品目（コメ、麦、牛・豚肉、乳製品、甘味資源作物）の関税維持を求める国会決議の順守に疑問を感じる状況にあります。TPPに基づく投資の自由化により、海外進出に追い風となる企業や、輸入食品が安くなる消費者とは反対に、農産物などの国内価格が低下することが見込まれ、企業や消費者の恩恵と引き換えに、1次産業が犠牲になってはならないと考えております。

食糧自給率が39%と最低水準にある現実を踏まえて、国内農業の生き残りに十分な対策を求める必要があります。国内最大の食糧基地である北海道の地域を支え、環境保全に貢献している担い手に対し、所得補償を含めた対策を充実させ、安定した再生産につながる農業政策の確立を求め

てまいります。

社会が目まぐるしく変化する中、未来予測が困難な状況が生じております。直面する困難を打破するために、必要とされる能力は環境によって変わります。今まさに人材の多様性が必要なときであります。地域に暮らす様々な世代に加え、農業を目指す人、移住を希望する人などの異なる価値観や背景を持つ人を、仲間として沼田町に受け入れる必要があります。この人材の多様性こそが、新しいアイデアにつながり新たな価値を創造し、社会に大きな変化をもたらす人・組織・社会の幅広い変革、イノベーションによって新たな時代の地域を創出しなければなりませんと考えております。

第5次沼田町総合計画の後期基本計画は、昨年度から平成30年度までの4年間の計画として策定いたしました。後期計画のテーマである「次へ前進！ 将来に希望が持てるまちへの実現」を目指し事業を推進してまいります。

また、まち・ひと・しごと創生法により、昨年策定いたしました「沼田町総合戦略」に基づく各種事業を本格的に実施していく年でもあり、総合戦略の4つの基本目標と、4つ

のプランを目指すことにより、目標人口に到達できるよう努力してまいります。目標に到達するには、地域が一体となり産官学金労言、並びに住民の代表者の方々と作り上げた総合戦略であることから、町民皆様にもご協力を頂きながら目標に向かって事業を推進したいと考えております。

平成28年度政策予算においては、後期基本計画で定めた優先的取組み5項目と、総合戦略における4政策パッケージを基本とした中で、第5次総合計画の将来目標である人口の確保・維持に向けた取組みを重点に置くとともに、快適で安心な暮らしが実感できるまちづくりを目指し、「この町に人を呼び込み、この町から離さない」環境を創り出し、慢性的な転出超過の改善を図ってまいります。

★安心して暮らしやすいまちづくり

農村型コンパクトエコタウン構想整備事業について

診療所、地域あんしんセンター、デイサービスセンターの施設が一体

となった「地域密着多機能型総合センター」については実施設計が完了次第、すみやかに診療所の施設整備に入ります。なお、地域あんしんセンター及びデイサービスセンターについては、平成28年度の国の補助事業により実施する予定であります。現在新たな制度が未確定で、国と調整のため、当初予算に計上することができないことから、補助制度が整った段階で補正予算を計上し、補助申請、補助決定を得て工事着手に向け取り組んでまいります。

地域医療体制の充実について

沼田町における地域医療の維持継続を最優先として、沼田厚生クリニックの施設整備に向けた、運営や機能について指定管理を前提に北海道厚生連との協議が整い、2月15日議会議決を得たことから、現沼田厚生クリニックを平成28年4月1日から町立の診療所「町立沼田厚生クリニック」として開設いたします。

町立の診療所として、「防ぐ（予防）」「支える（在宅医療）」をコンセプトに町民の暮らしに寄り添う診療所となるよう、より一層連携を深めながら指定管理者として北海道厚

平成28年度 町政執行方針概要

生連に地域医療を担っていただきま
す。

子育て支援の充実について

子育て満足度日本一のまちづくり
を旗印に、子育て世帯の方々の負担
の軽減を図るため、昨年度から実施
いたしております。「子育て世帯暖房
費助成事業」及び、任意予防接種で
あります。「ロタウイルスワクチン」
など4種のワクチン接種の助成に引
き続き取り組んでまいります。

出産に関しましては、産後の子育
てをより安心して行えるよう、保健
師による新生児訪問時に在宅助産師
が同行訪問し、専門的な助言指導に
より育児不安の軽減を図るための事
業などを継続実施していくととま

に、「子育て包括支援システム」の
構築に向けて、関係機関との協議と
個々のケースについての情報共有を
図り一貫した支援体制の整備に努め
てまいります。

認定こども園について

平成25年度から取り組んでまいり
ました。認定こども園につきましては
は、社会福祉法人沼田保育園によつ
て、本年4月に開園いたします。保
育と教育が一体となった、良好な子
育て環境が展開されるよう、現在の
幼稚園教諭を社会福祉法人沼田保
園に派遣するなど、運営に対して連
携支援してまいります。

また、保育料につきましては従前
より、所得階層の細分化と国基準の
50%の軽減率として取り組んだとこ
ろであります。子育て世帯への経
済的支援を拡充し子育て環境の更な
る充実を図るため、国の基準の80%
の軽減と更に第2子以降を無料とす
ることとして、予算計上いたしてお
ります。

★活力あるまちづくり

農業の振興について

本町の基幹産業であります農業
につきましては、水稲では5年連続
の豊作と畑作物などは、平年を上回
る収量・販売額となり、総合的に農
業者皆様方の努力が報われる結果と
なったところであります。

日本農業の将来に大きな影響が見
込まれるTPPが、政府からの十分
な情報開示が無い中、国会ではTP
Pを批准する手続きに入ることとな
ります。今後の進展を注視しながら
必要な対策を要請してまいります。

また、2年後には米政策の見直し
など、農業政策の大転換が迫る中、
農業者の高齢化、担い手の減少に伴
う農家戸数の減少など、様々な問題
に直面しておりますことから、引き
続き、関係機関・団体などからの情
報収集と、連携強化を図りながら、
沼田農業の持続的発展に努めてまい
ります。

本町における農地の流動化につき
ましては、農業委員会等関係団体の
取り組みや農業者の努力により順調
に推移し、認定農業者への農地集積

率は96%を超える水準に達していま
す。しかしながら、農業経営体並び
に農業従事者の数は減少し、農業後
継者のいない農家戸数も増加してい
るなど、将来に向けた沼田農業の担
い手をどのように確保していくのか
が喫緊の課題であります。道内最大
生産地となった花卉栽培や、3年連
続水稲反収全道一の実績をアピール
し、担い手の確保策の一貫として、
地域おこし協力隊制度による農業支
援員2名を採用し、本年より本格的
に農業経営体での研修を開始すると
ともに、新たな農業支援員も募集し
ながら、将来の担い手確保に取り組
んでまいります。

持続可能な沼田農業の進展を図る
上で、今以上の「農業所得の確保」
と「経営の安定化」「低」スト生産」
を図っていくことが極めて重要であ
ります。こうした状況に対処してい
くために新年度においては、農地基
盤整備への支援、生産基盤対策とし
て、円滑な農地の流動化を図るため
「農地流動化推進事業」を継続する
等の費用を予算計上いたしております。

沼田町農業振興計画が、平成29年
3月をもって計画期間が満了するこ
とから次期の第9次農業振興計画の

策定作業に取り掛かり、何としても基幹産業である農業を守り抜くためにJ Aや関係機関団体との連携を密にしながら沼田町農業の振興発展に努めてまいります。

商工業の振興について

商業コミュニケーション中核施設につきましては、昨年より整備に向けた協議を商工会・J A・行政の3者が中心となり進めて参りました。2月中旬に開催した町民ふれあい懇談会において計画の概要を説明させていただきました、本町になくてはならない商業施設の必要性について、ご理解をいただいたものと受け止めております。現在、スーパー出店者と最終合意に向けた調整と、経産省補助事業の申請に向けた調整を行っているところであり、中核施設建設に向けた所要の経費を予算計上いたしております。

商工業を取り巻く経営環境は厳しい状況にあり、地元商工業者に大きな影響を及ぼしていることから、活力を生み出し魅力あるまちづくりを促進する「ひと・まち・しごと育成支援事業」や、商店経営の安定化や商業振興を支援する「中小企業経営

安定化維持・商店街活性化事業」などの予算を計上いたしております。

移住定住の促進について

移住定住対策につきましては、町の存続を図るためには、人口減少に歯止めを掛けることが緊急課題となっており、施策の実効性を高めるため、人口増加に関連する各種施策の専門窓口を住民生活課内に開設いたします。

国の新たな制度である「定住支援員」、更に移住コーディネーター（地域おこし協力隊）を採用し、移住・定住に関する相談のワンストップ化を目指すとともに、移住希望者へのPR活動やちよつと暮らし、移住体験ツアー事業の検討、空き家・空き地活用などを推し進め、人口の維持確保を図る取り組みに着手するための経費と、関連する予算を計上いたしております。

昨年創設した、「沼田町住んで快適暮らしで満足移住定住応援条例」により、移住者確保に向け取り組んでいるところでありますが、新たに子育て世帯を対象に中古住宅を購入してリフォームを行う場合、奨励金

を拡充することとし、子育て世帯に手厚く支援する「高校生応援手当」「子育て応援通勤支援事業」「町外通勤者移住後押し支援事業」を継続し、移住定住へのきつかけづくりとなるよう予算計上いたしております。

ふるさと納税について

平成27年度のふるさと納税につきましては、当初予算額を大きく上回る状況で推移しており、国の税制改正と併せて、27年度から取り入れたクレジット決済により、地域情報の入手と寄付行為が手軽にできることが、大きな要因と考えております。ふるさと納税制度は、多くの方に本町を知っていただく、有効な情報発信ツールであることから平成28年度も感謝特典の品揃えを工夫するなど、積極的に取り組んでまいります。

開拓から120年を経て、私たちの祖先が時代に乗り遅れることなく、知恵を合わせて代々築き上げ、町民の日々の暮らしを支えてきた、社会資本であります官民施設が、時間の流れに沿ってその使命を全うし、新たな時代に即した人口規模に

見合った機能を有した、新たなインフラ施設が必要な時期を迎えております。

少子高齢化と過疎化が進む環境は、町政運営にとって決して容易なものではなく、克服しなければならぬ課題が数多くあります。

将来に備えて、打つべき手は何であるかを深慮し、将来に亘って安心して住み続ける事のできる町を目指して、町民の皆様との対話と相互理解を深め、活気あふれる沼田町を作り上げてまいりたいと考えております。

そのためには、役場職員一人ひとりが夢とビジョンをもつこと、町民と職員が丸となって知恵を出し、協力し、情報を共有し合うことが必要と考えております。

そして、私は、町長として、その先頭に立って職責を果たしてまいりたいと考えております。

町民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。平成28年度の町政執行方針といたします。

「沼田ならだけではの希望に満ちた

豊かな学びの実現」

今、社会は人口の減少や少子高齢化、情報化、国際化等が急速に進んでおり、教育にはそうした社会の変化に柔軟に対応しながら、しっかりと自立し、他と協調しながら自らの人生を切り開いて行く事の出来る、創造性やチャレンジ精神に溢れる人材の育成が強く求められております。

特に学びの土台を築く学校教育においては、子供達が将来に亘って豊かな人生を営んで行くために不可欠な学力・体力・道徳性を養うための充実した教育活動の他、いじめや不登校、情報モラル、生活習慣等の今日的課題の解決に向けた、家庭や地域との連携強化が必要とされております。



3月9日～16日に開催された第1回議会定例会で、生沼教育長が平成28年度の教育行政執行方針について述べました。

今回の広報では、その主要な部分を掲載いたします。全文をご覧になりたい方は、役場総務財政課までお問い合わせください。

時代の変化に伴い人々のニーズや価値観が多様化する中で、住民の皆様が生涯に亘って学び続けるための環境づくりや、まちの活力を高める上において重要となる青年・女性活動の充実等は、これからのまちづくりにには不可欠な要素であり、それらを担う社会教育の役割は一層大きなものになって来ております。

我が沼田町が地方創生を目指し、自律的で持続的な発展をし続ける上

において、教育の果たすべき役割は極めて大きく、教育委員会としてもその事をしっかりと認識しながら、沼田町総合教育計画の目指す「沼田ならではの豊かな学びの実現」に向け、各種施策の展開に全力で取り組んで参ります。

★一貫連携教育の推進

この取組みについては、第1期として平成25年度から3年を掛けて進めて来たところですが、この間教員の皆さんの前向きな努力により、小中9年間を見通した系統表の作成や乗り入れ授業、合同授業等の他、合同運動会を始めとする各種交流活動等も精力的に進められ、昨年にはこうした研究の成果を町内外に発信する公開研究大会を開催したところです。

しかし、一定の形を作り上げる迄にはまだまだ至っておらず、更に新年度からの3年間を第2期として、取組みの具体化を進める事としております。

新年度においては、これまで進めて来た乗り入れ授業等の取組みを更に充実させると共に、平成30年に予定している沼田学園（仮称）の開園に向け、「学園化推進委員会」を発足させ、教育目標、教育理念の設定や必要な体制づくりを進める他、「沼田ならではの学び」として新たに設定する「ふるさと沼田学習」、「ハローイングリッシュ（英会話）」や小学生の中学校登校等について、実践と検証を重ねて行く事としております。

また、26年度から道教委の指定を受けて進めて来た「小中連携・一貫教育実践事業」については新年度が最終年となる事から、当事業の成果発表の場として昨年に続き公開研究大会を開催する事としております。前回の反省等も踏まえ、取組みのステップアップに繋がる実り多い大会となります様、関係者一丸となって準備を進めて参ります。

一方、家庭での生活習慣、学習習慣の改善定着に向けた取組みが、保

護者による「家庭地域部会」において精力的に進められており、少しずつではありますが成果が見え始めているところではあります。今後においては体力向上やスマホルール等の情報機器使用への対応も含めて、当部会との連携の下、更に努力を重ねて参ります。

なお、これまでのこうした一連の実践研究活動の成果が顕著であるとして、過日沼田小・中学校が空知教育局より「平成27年度空知管内教育実践表彰」をいただきました。この事を大きな励みとしながら関係者一致協力の下、子ども達のより良い成長を目指して参ります。

★社会教育の推進

子ども達の健全育成については、小学校との連携を深め、また、児童や保護者のニーズも把握しながら、子ども達の「生きる力」、「学力・体力向上」にも繋がる質の高い保育の展開に努めて参ります。

「子ども交流広場」は、住民の皆様様に「子ども応援団」への登録を呼び掛けつつ、多様な活動を展開しながら、子ども達のより良い成長を目指して参ります。また、家庭や地域

の教育力向上に向け、地域や保護者の皆様を対象に「家庭教育講演会」、「親学講座」を開催する他、子ども達の見守りや声掛け、あいさつ運動等を引き続き展開して行くため、警察や防犯協会、自治振興協議会とも連携しながら「沼田っ子サポーター」や「子ども110番の家」等の体制強化を図って参ります。

加えて、最近活動が停滞傾向にある子供会活動の活性化についても関係者等と検討を進めて行く事としております。

成人教育については、住民の皆さんが心豊かな生活を送るためには不可欠なものであり、特にお年寄りの豊かな知識や経験は、地方創生を進める上での大きな力になるものです。今後も「いきいき大学」や「生きがいづくり講座」等の学びの機会を更に充実させ、お年寄りの健康づくり、生き甲斐づくりに繋げて参ります。

また、まちの活力を高めるためには青年や女性の活動を活性化させる事が重要です。そのための「青年活動活性化事業」や「リーダー育成研修」、「女性フェスタ」についても継続して参ります。

この他、芸術・文化振興事業として、

ほろしん温泉エリア内にある“穴窯”を活用した「陶芸体験事業」を新たに実施する事としております。

人口の減少と少子高齢化社会を迎え、我が町が地方創生を実現し、持続的に発展して行くためには、“ふるさと沼田を愛し、世界に向かって羽ばたく人材を育てる学校教育”、“全ての教育の出发点であり、社会全体で支え合う家庭教育”、“活力に満ちた豊かな地域をつくる社会教育”をそれぞれリンクさせながら力強く推進して行く事が重要です。

新年度の教育予算については、町財政も厳しい状況ではありますが、町理事者のご理解の下、最大限の計上をいただきました。課題は山積でありますが、教育の重大な使命をしっかりと自覚し、将来に亘って活力に満ちた沼田町を創って行くために、職員共々全力で取り組んで参る所存であります。

町民並びに議員各位のご理解とご協力を心からお願い申し上げ、平成28年度における教育行政執行にあたっての所信と致します。

◆活力あふれる「ぬまた」◆

■商業コミュニティ中核施設整備事業補助【継続】■

平成27年度に実施設計に着手した中核施設整備事業ですが、平成29年6月のオープン（予定）に向けて平成28年度では施設本体の整備及び用地整備を行い、平成29年度に外構工事が予定されており、実施主体に対し事業補助を行い町内購買環境を守ります。

■第40回夜高あんどん祭り事業【新規】■

本町開拓の祖、沼田喜三郎翁のふるさと富山県小矢部市より伝承を受け昭和52年に第1回が開催された夜高あんどん祭りも、町民皆さんの熱意により現在では北海道三大あんどん祭りと呼ばれるまでになり、本年第40回を迎えます。夜高あんどん祭りの感動をより多くの皆さんにお伝えするため、夜高会館2階資料室を整備し迫力ある夜高あんどん祭りの映像をご覧いただけるようにします。また、駐車場設備の整備や臨時循環バスの運行など、祭り当日にお越しいただく観光客の方をお迎えする環境の整備を図ります。

《主な事業概要》

○夜高会館整備

- ・プロジェクター及びスクリーン導入
- ・ブラインド設置

○観光客のおもてなし

- ・問い合わせ専用ダイヤルの設置
- ・臨時循環バスの運行



◆魅力あるぬまた農業へ◆

■新時代農業経営高度化支援事業（複合化の推進）【継続】■

多様な作物や技術等の導入による、農業経営の高度化を図るものに支援し、本町農業の持続的発展を目指します。

事業区分	補助率	限度額
新規作物・園芸作物増棟支援	8割以内	1,500千円
新規作物等導入支援	1/2	450千円
雪中ブランドづくり支援	8割以内	1,500千円
就農・婚姻後10年未満の後継者支援	8割以内	1,500千円（園芸作物増棟）

■加工用トマト活用拡大推進事業【新規】■

健康野菜の代名詞のように言われるトマトですが、本町は加工用トマトの全道一の産地でありながら町民の日常食生活に広く浸透しているとは言えないのが現状であり、「地産地消・健康・食育」といった多角的な視点からトマト食を促進し、併せて沼田町産加工トマトのブランド化を図ります。



【事業概要】

- ・講演会の開催
- ・町民モニターの健康評価（血液検査）
- ・トマト料理コンテスト

◆ずっと住みつづけられる環境づくり◆

■住んで快適暮らして満足移住定住応援事業【拡充】■

若い世代の住宅新築・中古住宅取得に対する支援を更に拡充するとともに、中古住宅取得後に行うリフォームの年数要件を緩和し、移住定住の促進を図ります。

区 分			現 行 交 付 額	拡 充 交 付 額	
①	住宅新築	土地購入	20歳代	170万円	170万円
			30歳代	130万円	130万円
			40歳以上	50万円	50万円
		自己所有地	50万円	自己所有地にも上記適用	
②	土地購入	30万円	30万円	30万円	
		3年以内に住宅新築	3年以内に住宅新築	3年以内に住宅新築	
③	町内業者での建設	70万円	70万円	70万円	
④	融雪溝設置路線に新築	150万円(①に加算)	150万円(①に加算)	150万円(①に加算)	
	中古住宅購入	50万円(限度)	50万円(限度)	50万円(限度)	
⑤	※子育て世帯が住宅取得と同時に改築する場合、200万円以上の工事費に対して50万円を加算			※子育て世帯が取得し3年以内に改築する場合200万円以上の工事費に対して100万円を加算	
⑥	中古住宅取壊し新築	限度額100万円(①に加算)	限度額100万円(①に加算)	限度額100万円(①に加算)	
⑦	住宅リフォーム(改修費の1/4以内)	25万円(限度)	25万円(限度)	25万円(限度)	
⑧	子育て世帯住宅新築	50万円/人(①に加算)	50万円/人(①に加算)	50万円/人(①に加算)	
⑨	融雪施設	20万円(限度)	20万円(限度)	20万円(限度)	

※子育て世帯とは、中学生以下の子供を養育する世帯

■働きながらのちょっと暮らし事業【新規】■

市街地にある町有住宅を活用して短期の体験移住を受け入れし、町内で仕事をしながら「ぬまた暮らし」をしていただき移住後の生活をよりリアルに体験してもらうことで移住希望者と町内事業所の橋渡しを行います。

■ライフパートナー探し応援事業【新規】■

結婚について前向きに取り組む意欲ある希望者に対して、結婚相談所等の専門機関への入会金等の費用やイベント参加費用の一部を助成することで若い世代等の結婚に対する希望を叶え、結婚から子育てまで一貫した切れ目ない支援を行っていきます。

【助成対象者】

- ①結婚に対して前向きに取り組む意欲ある20歳以上の独身者
- ②沼田町に住所を有する者で、かつ、今後も町内に居住する意思のある者

【対象経費】

- ①結婚相談所等の専門機関への入会等にかかる経費(入会金、登録料、会費)
- ②婚活パーティ等のイベント参加料

【助成額】

一人当たり上限60,000円

(但し、イベント参加料については、1回につき3,000円を限度とする)



◆安心して子育てできる環境◆

■認定こども園スタート【新規】■

幼保一元化による複数年幼児教育の実現、延長保育や預かり保育などの保育サービスの充実、幼稚園及び保育所による二重保育の解消など、より良い保育・幼児教育環境の実現を図ります。

- 名称 沼田認定こども園（運営主体：社会福祉法人 沼田保育園）
- 開園 平成28年4月1日
- 定員 80名（0歳～5歳）



■認定こども園保育料軽減【拡充】■

平成27年度に国基準の保育料に対し「30%」→「50%」に軽減拡大を図ったところですが、更に軽減率を拡大し「80%軽減」を実施するとともに、多子軽減策を拡充し就学前の子育て世帯の経済的負担軽減を図ります。

《多子軽減の拡充》

	現 行	改 正
対基準となる第1子目の年齢基準	小学校3年生以下の子どもの人数	義務教育修了前の子どもの人数
保育料（軽減後の保育料に対し）	1人目 全額・2人目 半額 3人目以降無料	1人目 全額・2人目以降無料

■子育て世帯冬季暖房経費助成事業【継続】■

本町は北空知管内でも有数の積雪寒冷地であることから、中学生以下の子どもを養育する世帯に対し冬季暖房費の一部を助成し、子育て世帯の負担軽減を図ります。

- ①助成額 1世帯につき1万円

※町内でのみ利用可能な「商品券」で支給します

◆いくつになっても安心して暮らせる環境◆

■高齢者世帯等除雪費助成事業【継続】■

高齢者及び身体に障がいのある世帯が玄関前、屋根、窓の除雪を業者委託した場合に費用の一部を助成し、安心して生活していただける環境づくりに努めます。

《補助率等》

- ①町民税非課税世帯 1/2以内・2万円限度
- ②町民税均等割のみ課税世帯 1/4以内・1万円限度

■高齢者ハイヤー利用助成事業【継続】■

65歳以上の高齢者で、冬期間町内及び町外の医療機関への通院が困難となる方に、安心して在宅生活を続けていただくためハイヤーチケットを交付します。

《事業概要》

- 対象者 65歳以上の高齢者で在宅生活している方
(町民税非課税世帯又は均等割のみ世帯)

- 交付内容 役場を中心とした直線距離で
 - ・半径2.5km圏以内にお住まいの方 500円×20枚
 - ・半径2.5km圏超 500円×30枚



■ 高齢者等入院交通費助成事業【拡充】 ■

平成 26 年に沼田厚生病院が無床のクリニックに移行したことにより、入院できる医療機関が町外の医療機関に限定されたことから、入院された高齢者家族が付添う場合、高齢者などが住み慣れた地域で安心して在宅生活を送っていただけるよう交通費の一部助成を行っています。平成 28 年度からは、支給対象者となる町内に居住する高齢の付添人がいない場合には、入退院時交通費を入院者本人に助成することができるように制度改正を行います。

《事業概要》

○支給対象者

- ①世帯主及び同居の親族が 65 歳以上の世帯員で構成されている世帯。
- ②世帯主が 65 歳以上の独居世帯
(付添人が町内に居住する 2 親等以内の親族かつ基準日に 65 歳以上の者である場合)
- ③世帯主が 65 歳以上の独居世帯 (支給対象となる 2 親等以内の付添人がいない場合)
※③は入退院時交通費のみを入院者本人に助成

○助成の範囲

- 〔入院期間中の助成〕 入院期間中の付添人の交通費助成 入院日数 ÷ 2 × 500 円
・助成額の上限 入院した同一世帯員 1 名に対し当該年度内入院日数 90 日限度
- 〔入退院時の助成〕 入院時 5,000 円 退院時 5,000 円



◆ たしかな学力・体力 教育環境の充実 ◆

■ 学力向上対策事業【継続】 ■

○小学生

家庭での学習習慣の定着と国語力向上を図るため漢字検定料 (一人 1 回 / 年) を全額助成します。

あわせて、放課後の補習や自主学習もサポートします。

○中学生

国際社会を生き抜く力を養うための英語力向上を図るため、英語検定料 (一人 1 回 / 年) を全額 助成します。

あわせて、小学生同様放課後の補習や自主学習のサポートも行います。



■ 体力向上対策事業【継続】 ■

運動が「得意」か「不得意」かは概ね 5 ~ 8 歳で決まるとされており、「得意」になるには走る・飛ぶといった運動が「できる・好き」になる事が重要であり「コーディネーショントレーニング」を専門家の指導により実施し体力向上を図ります。

また、町健康運動指導士も必要に応じて指導を行い、より効果が発揮できるよう「学校・専門指導員・町健康運動指導士」が連携して実施します。

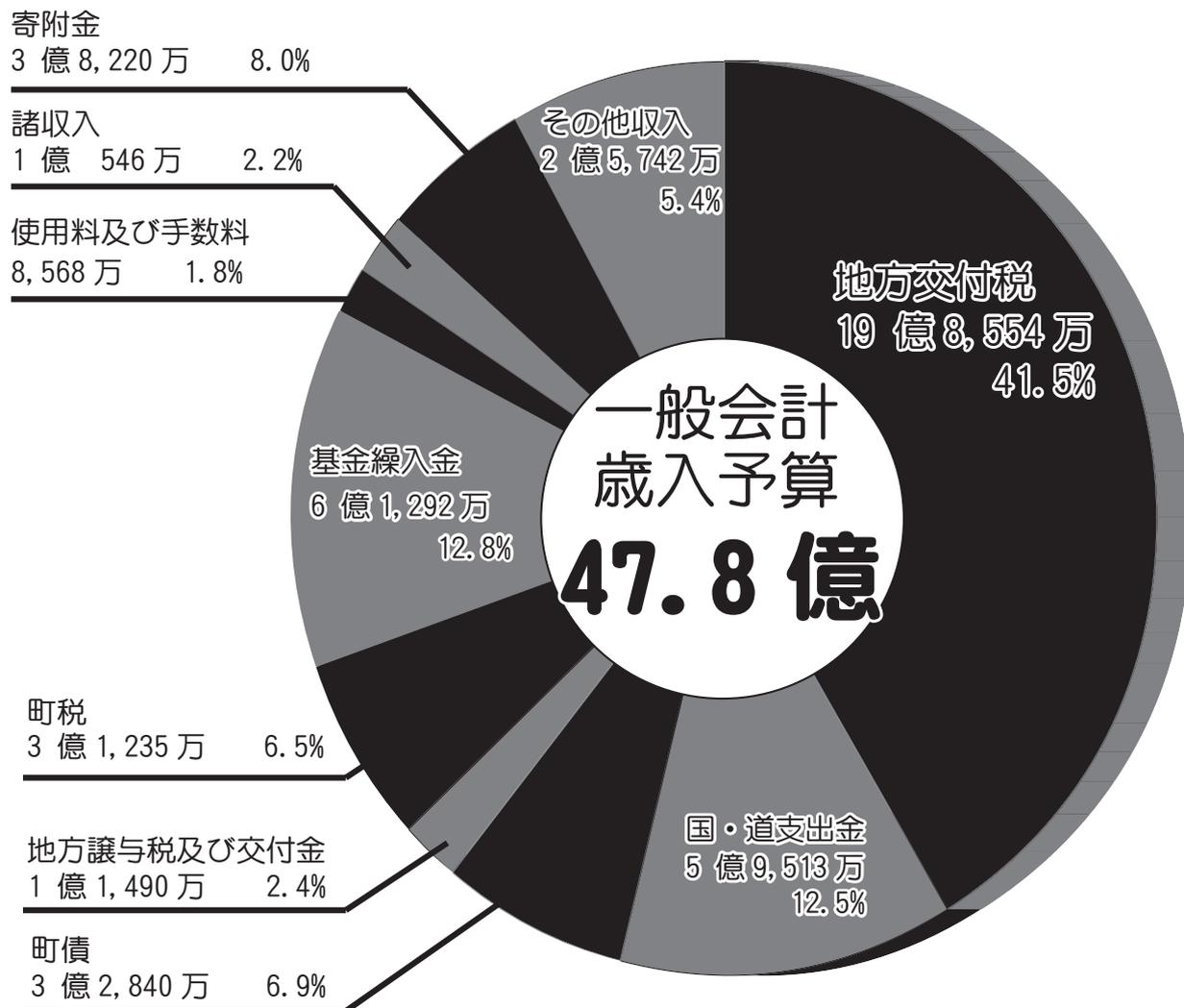
※毎月 1 回 (年 12 回)

■ まちなか英語空間事業【新規】 ■

外国人講師 (ALT) と町栄養士による料理教室や、ゲーム大会を開催し実施中は英語のみで会話を行い楽しみながら英語に触れることで参加者が英語に慣れ親しむ機会をつくれます。

平成 28 年度 町の予算概要

平成 28 年度当初予算は、平成 27 年 10 月に策定しました「沼田町総合戦略」の実質的な初年度であり、総合戦略で定めた 4 つのプラン「コンパクトなまち」「最後まで健康で安心して暮らせるまち」「農業を柱とした若者中心の小さな経済づくり」「子どもが戻ってくるふるさとづくり」を基本に、未来の「ぬまたに暮らす人たちが笑顔で暮らせる、新しいまちの姿を創造するスタートの予算として各種施策を盛り込んでいます。



会 計 名		当初予算額	対前年比
一 般 会 計		47 億 8,000 万	22.6%
特 別 会 計	養 護 老 人 ホ ー ム	2 億 6,663 万	▲ 0.3%
	特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	2 億 9,774 万	▲ 7.6%
	高 齢 者 グ ル ー プ ホ ー ム	4,057 万	▲ 0.1%
	介 護 保 険	3 億 9,080 万	3.1%
	国 民 健 康 保 険	5 億 5,423 万	▲ 2.1%
	後 期 高 齢 者 医 療	5,512 万	▲ 7.5%
	公 共 下 水 道	2 億 2,146 万	1.3%
合 計		66 億 658 万	14.8%

用語の解説

● 総務費

町の内部管理・税務・戸籍・選挙・統計などに要する経費です。

● 民生費

障がい者や高齢者に対する福祉の充実、保育園運営などの経費です。

● 衛生費

町民の保健・医療、生活環境の保全、ごみ処理などにかかる経費です。

● 農林水産業費

農業の振興に要する経費、生産基盤の整備などに要する経費です。

● 商工費

商工業の振興、夜高あんどん祭りなど観光の振興などに要する経費です。

● 土木費

道路維持改修、除排雪、公営住宅やパークゴルフ場などに要する経費です。

● 消防費

火災の予防・消火や急病人の救助、防災などの経費です。

● 教育費

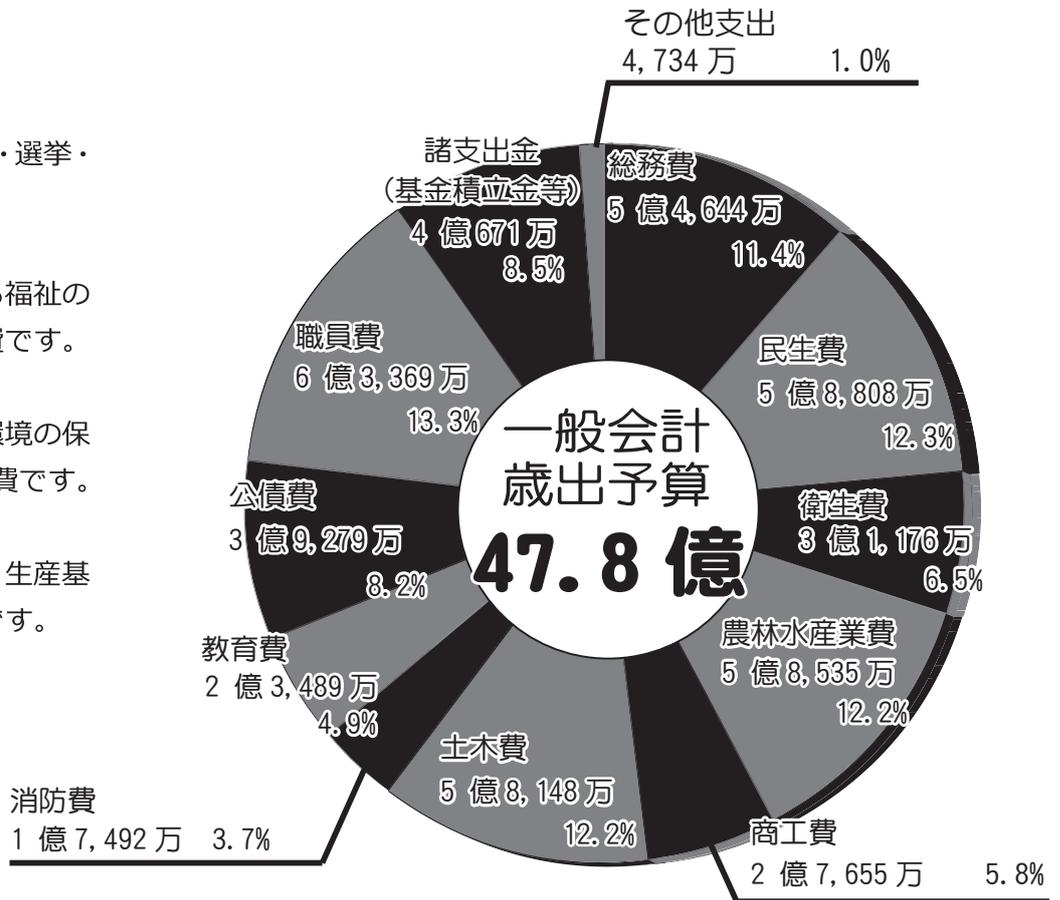
小中学校の教育の充実、文化・スポーツの振興などに要する経費です。

● 公債費

町の事業を行うために借り入れた資金の返済に充てる経費です。

● 職員費

職員給与などを支払う経費です。



基金残高の推移見込(一般会計所管分)

基金の区分	27年度末 現在高 (見込)	平成28年度中の増減			28年度末 現在高 (見込)	
		利子積立	新規積立	取崩		
財政調整基金	336,397	404		50,000	286,801	
減債基金	521,514	657			522,171	
特定目的基金	振興基金	717,272	861	650	257,058	461,725
	自動車学校基金	462	1			463
	ふるさとづくり基金	230,926	150	310,000	184,178	356,898
	社会福祉基金	79,823	96	1	15,691	64,229
	農業振興基金	172,162	207	72,000	34,352	210,017
	農業者人材育成基金	6,126	8		1,000	5,134
	農地流動化基金	6,585	8	17,100	4,247	19,446
	商工観光振興基金	53,052	64	1	6,996	46,121
	企業等誘致推進基金	30,373	37		3,593	26,817
	移住定住応援基金	69,523	84		16,800	52,807
	みどりの景観等保全基金	11,169	14		368	10,815
	スコール基金	30,922	36	1	6,524	24,435
	青少年スポーツ文化振興基金	571	1	1	300	273
地域医療確保安定化基金	244,380	519		29,500	215,399	
学校教育振興基金	204,400	245	1	2,314	202,332	
特定目的基金合計	1,857,746	2,331	399,755	562,921	1,696,911	
定額 奨学資金貸付基金	6,158	8	100		6,266	
定額運用基金合計	6,158	8	100		6,266	
基金総合計	2,721,815	3,400	399,855	612,921	2,512,149	

注) 今後の決算により移動が生じます。

借入金状況

平成27年度末 現在高 (見込)	平成28年度中		平成28年度末 現在高 (見込)
	償還元金 見込額	新規借入 見込額	
2,889,402	357,764	433,700	2,965,338

注) 今後の決算により移動が生じます。

はじめまして 移住定住応援室です!!

「自然豊かな環境で暮らしたい」「移住先で新しいことにチャレンジしたい」—そんな移住者の方々の受け入れを強化するため、平成28年度より住民生活課内に「移住定住応援室」を新たに設置しました。

この「移住定住応援室」は職員3名、移住コーディネーター（地域おこし協力隊）1名、定住支援員1名の計5名体制で、移住（UIターン）を希望する方々の相談対応や沼田町の魅力のPR・移住定住希望者へのきめ細やかなサポート（空き家情報の提供、町内求人募集の提供、地域情報の提供、移住後のフォロー）などの移住定住に向けてのお手伝いを行います。

友人、知人などで移住をお考えの方がいらっしゃいましたら、移住定住応援室までご紹介下さい。

親切、丁寧にご対応いたします。



移住定住応援室のスタッフ!!

左より松坂主事・岩井主査・岡田室長・佐々木隊員・沼田支援員です。

◎お問合せ先

移住定住応援室

Tel 0164-35-2115

移住コーディネーター （地域おこし協力隊）



さ さ き き きたる
佐々木 儀

出身地：札幌市
趣味：携帯ゲーム
抱負：沼田町へ移住しやすく転出したくない環境づくりとPRをガッツリしていきます。

定住支援員



ぬ また ゆうすけ
沼田 祐輔

出身地：大阪府
趣味：音楽
古いものを集める
抱負：移住コーディネーターと共に住む人々が楽しいと感じれる町にしていきたいです。



ようこそ!! めまたへ

子育て住宅 「沼田テラスハウス」に入居された方をご紹介します。

4月より沼田町土地改良区に勤務され、昨年10月に完成しました沼田テラスハウスに入居した
しもや たかし
下家 隆志 (28歳) さんです。

◎ 出身地はどちらですか？

沼田町と同じ空知管内の芦別市です。

◎ ご家族は何人ですか？

妻と子（最近生まれました）の3人です。

◎ 沼田町へ来られた印象は？

普段町を歩いていて、町の方々から普通にあいさつされることに驚きました。

◎ 本町では初めての子育て世帯向けの集合住宅ですが、住み心地はいかがですか？

まだ一人で暮らしているので、家族がいることでどう感じるかはまだわかりませんが、ところどころに配慮を感じました。例えば、扉ひとつにしても、最後閉まる時にゆっくりと閉まるようになっていて指を挟めないような造りになっていたり、部屋の中に小窓があることで、どこにいても家族の様子が確認できるようになっていることです。親子3人で住むのが楽しみです。

◎ これからやりたいことはありますか？

たまたま縁があって転職し、たまたまそのタイミングで家族が増えました。知らない土地でまだ右も左もわからないので、1日でも早くこの町に溶け込めたらいいなと思っています。



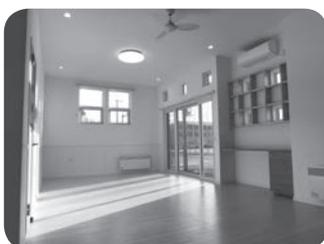
▲沼田テラスハウス（北1条6丁目）▲



▲沼田町土地改良区に勤務する下家さん▲



▲日差しが十分に差し込む
広々リビング▲



▲お子さんと会話しながら調理できる対面キッチン▲

それぞれの卒業式 !!

今までのたくさんの思い出を大切に、これからの多くの出会いに期待して !!

3/12 沼田中学校 (小川 勉校長)

3月12日(土)、卒業式シーズンの先陣をきって沼田中学校卒業証書授与式が執り行われ、卒業生28名は、小川校長から一人ひとり卒業証書を受け取りました。小川校長からは「君達一人ひとりが人生の主人公。大きな夢を持って日々努力し、大空に羽ばたいて行くことを心から祈っています。」と式辞が述べられました。



3/18 沼田幼稚園 (本庄 修園長)

3月18日(金)、沼田幼稚園で最後となる卒園式が執り行われ13名が卒園しました。

園児たちは自分の名前を呼ばれると、元気に「はい」と返事をして本庄園長から卒園証書を受け取りました。本庄園長が「良く遊び、よくお手伝いをしてくれた。怖いものにも挑戦する姿を見せてくれ大きく成長してくれた。これからは人の痛みを分かり合い更に成長してほしい」と式辞を述べました。お別れの挨拶と歌が始まると園児は涙を浮かべ、元気いっぱいに遊んだ幼稚園を卒園していきました。



3/19 沼田小学校 (元木和芳校長)

3月19日(土)、沼田小学校において、卒業証書授与式が執り行われ19名が卒業しました。

元木校長から児童一人ひとりに卒業証書が手渡され、「夢や目標に向かって頑張れば、可能性は無限大です。相手の気持ちになって優しい中学生になってください。」と話しました。

式の最後に、在校生と卒業生で呼びかけを行い、全員で「旅立ちの日に」を合唱しました。



3/20 沼田保育園 (土肥芳子園長)

3月20日(日)、沼田保育園において、卒園式が執り行われ28名が卒園しました。卒園児は土肥園長先生から卒園証書を手渡され、ステージ上で「大きくなったら八百屋さんになりたい」「大きくなったら警察官になりたい」など、将来の夢を発表しました。

土肥園長は「幼稚園や小学校に行っても、たまには保育園に遊びに来てくださいね」と園児に話されていました。



どきどき！わくわくの入学式！！

4/
1

沼田認定こども園

(土肥芳子園長)

入園児生 男子 21名
女子 30名 計 51名



4/
6

沼田中学校

(小川 勉校長)

入学生 男子 7名
女子 11名 計 18名



4/
7

沼田小学校

(元木和芳校長)

入学生 男子 6名
女子 8名 計 14名



介護予防事業

「高齢者元気100倍！教室」閉校式

3/18



昨年5月から開始しました介護予防教室「高齢者元気100倍！教室」の閉校式が3月18日（金）に行われました。これまで「笑いヨガ教室」や松野健康運動指導士による「健康運動」、食改善協議会主催による「料理教室」など健康・栄養・教養の総合プログラムとして計16回開催し、毎回平均25名ほどの参加者がありました。

閉校式では、参加回数に応じたポイントが一定以上となった方へ金平町長より感謝状と健康グッズが手渡されました。

金平町長は「多くの方に参加していただいていることに感謝申し上げます。本年も数多くの介護予防教室がありますので、ぜひ参加し健康づくりに励んでいただきたい」と挨拶を述べました。

明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い

シーズン最後の滑りを満喫！！

3/27

3月27日（日）、幌新ダムを巡る2km・7km・13kmの特設コースで「明日萌の里・ほたるの里歩くスキーの集い」が開催され、札幌・岩見沢・旭川などから参加した約200人が快晴の下、雪を抱いた山々を眺めながらシーズン最後の滑りを満喫しました。

ゴールした参加者は、仲間と食事をとったり温泉で汗を流し疲れを癒していました。



みんな仲良く！！

沼田町仲間づくり「子ども会議」を開催

3/28

3月28日（月）、沼田小学校児童会と沼田中学校生徒会を対象に沼田町仲間づくり「子ども会議」が開催されました。この会議は北海道教育委員会主催の「どさんこ☆子ども全道サミット」を受けて各市町村にて取り組んでいるもので、今回は「明るく楽しい学校づくり」をテーマに、いじめを防ぐためにできることについて話し合いが行われました。話し合いでは悪口・暴力・無視・仲間はずれなどがいじめになり、それらを防ぐために「周りの人が助ける」「気付いたときに先生に相談する」などの意見が出され、話し合いで出た意見やフレーズを元に、各校舎に掲示するいじめ防止のポスターを作成しました。



沼田町地域医療の第一歩

沼田厚生クリニック 町に移管

4/
1



4月1日（金）、JA 道厚生連「沼田厚生クリニック」が町に移管され「町立沼田厚生クリニック」としてスタートしました。

町立への移管に伴って道厚生連西一司副会長から職員への辞令交付式が行われ、「厚生連の病院として74年に幕を閉じるが、沼田町を中心として多くの住民の健康を守り、今までと変わらない医療サービスを提供したい」と述べられました。

また、金平町長は「今日が町立の地域医療のスタートの日、町と地域の方々と一体となってクリニックを守っていきたい」と述べました。

交通安全を願って!!

役場主婦の会マスコット寄贈

4月1日（金）、役場主婦の会（金平智子会長）が、春から沼田小学校に通う新一年生の交通安全を祈願して「カエルのマスコット」を手作りで作成し、金平会長から元木和芳校長に手渡されました。

このカエルのマスコットのプレゼントは、役場主婦の会が地域貢献活動の一環として長年行っているもので、金平会長は「子どもたちが無事に通学できるように願いを込めて作りました」とマスコットの入った箱を手渡すと、「いつもありがとうございます。子どもたちも喜んでくれると思います」と元木校長はお礼を述べていました。

マスコットは、4月7日（木）の入学式の日にも新一年生に手渡されました。

4/
1



子ども達の安全を願って

通学路点検を実施!!

4/
12



沼田町自治振興協議会（石田隆広会長）が、警察や道路管理者、防犯協会、学校・PTA、教育委員会などの関係機関に呼びかけ、春の交通安全運動期間中の4月12日（火）、小・中学校通学路の110番の家の場所の確認と、交通事故に遭いそうな危険な場所がないか合同点検を行いました。

点検は3班に別れて行われ、実際に通学路を歩いて110番の家の場所や危険箇所の情報を関係機関で共有することができました。

教育委員会では今回の合同点検を参考とさせていただき、関係機関の皆様と協議しながら「通学路交通安全プログラム」を作成する予定です。

後期高齢者医療制度のお知らせ

75歳以上の方と、65～74歳で一定の障がいのある方が対象です

変更

保険料率が変わりました

被保険者の皆さまにお支払いいただく保険料は、2年ごとに保険料率を見直すこととなっています。平成28・29年度の新しい保険料率は、次のとおりです。

◆均等割 (被保険者が等しく負担)

平成26・27年度
年間 51,472円



平成28・29年度
年間 49,809円 (1,663円減)

◆所得割 (被保険者の所得に応じて負担)

平成26・27年度
年間 10.52%



平成28・29年度
年間 10.51% (0.01ポイント減)

◆限度額 (一年間の保険料の限度額)

平成26・27年度
年間 57万円



平成28・29年度
年間 57万円 (変更なし)



保険料の軽減が拡大しました (均等割2割・5割)

平成28年度の保険料額は7月中に個別にお知らせします。

平成27年度まで

軽減割合	所得が次の金額以下の世帯
5割軽減	33万円 + (26万円 × 世帯の被保険者数)
2割軽減	33万円 + (47万円 × 世帯の被保険者数)



平成28年度より

軽減割合	所得が次の金額以下の世帯
5割軽減	33万円 + (26万5千円 × 世帯の被保険者数)
2割軽減	33万円 + (48万円 × 世帯の被保険者数)

保険料の計算方法

$$\begin{array}{l}
 \text{均等割} \\
 \text{【1人当たりの額】} \\
 49,809円
 \end{array}
 +
 \begin{array}{l}
 \text{所得割} \\
 \text{【被保険者本人の所得に応じた額】} \\
 \text{(平成27年中の所得 - 33万円) × 10.51\%}
 \end{array}
 =
 \begin{array}{l}
 \text{1年間の保険料} \\
 \text{【限度額57万円】} \\
 \text{(100円未満切捨て)}
 \end{array}$$

- 1年間の保険料の上限額は57万円です。
- 75歳になった時など、年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割りで計算します。

次の①～③に当てはまる被保険者の方は、保険料が軽減されます。

- 軽減は、被保険者と世帯主の所得の合計で判定します。
- 被保険者ではない世帯主の所得も判定の対象となります。

①均等割の軽減

世帯の所得に応じて、4段階の軽減があります。

所得が次の金額以下の世帯	軽減割合	平成28年度	前年度比
33万円かつ被保険者全員が所得0円 (年金収入のみの場合、受給額80万円以下)	9割軽減	4,980円	約 200円減
33万円	8.5割軽減	7,471円	約 300円減
33万円 + (26万5千円 × 世帯の被保険者数)	5割軽減	24,904円	約 800円減
33万円 + (48万円 × 世帯の被保険者数)	2割軽減	39,847円	約 1,300円減

②所得割の軽減

被保険者個人の所得で判定します。

所得が次の金額以下の方	軽減割合
所得から33万円を引いた額が58万円以下の方	5割軽減



③被用者保険の被扶養者だった方の軽減

この制度に加入したときに被用者保険（主にサラリーマンの方が加入している健康保険）の被扶養者だった方は、所得割はかからず、均等割が9割軽減になります。

■年間保険料額の例

昨年度との比較の図を掲載しておりますので、昨年度と所得の変更がなければ、概ね平成28年度の保険料額がいくらからい変更になるかの目安としてご利用下さい。

例：一人暮らしで年金収入80万円の方は平成27年度5,100円が4,900円となり200円保険料負担が減ります。（軽減割合については上の①均等割の軽減をご参考下さい）

●単身世帯の場合

年金収入	均等割軽減	所得割軽減	平成28年度	前年度比
80万円	9割	—	4,900円	200円減
153万円	8.5割	—	7,400円	300円減
168万円	8.5割	5割	15,300円	300円減
194万円	5割	5割	46,400円	900円減
194.5万円	5割	5割	46,700円	16,300円減
211万円	2割	5割	70,300円	1,300円減
215万円	2割	—	105,000円	1,400円減
216万円	2割	—	106,000円	11,700円減

●夫婦2人世帯（共に被保険者）で妻の年金収入が80万円以下の場合

夫の年金収入	区分	均等割軽減	所得割軽減	平成28年度	前年度比
80万円	夫妻	9割	—	4,900円	200円減
			—	4,900円	200円減
153万円	夫妻	8.5割	—	7,400円	300円減
			—	7,400円	300円減
168万円	夫妻	8.5割	5割	15,300円	300円減
			—	7,400円	300円減
211万円	夫妻	5割	5割	55,300円	900円減
			—	24,900円	800円減
220万円	夫妻	5割	—	95,300円	900円減
			—	24,900円	800円減
221万円	夫妻	5割	—	96,300円	16,400円減
			—	24,900円	16,200円減
262万円	夫妻	2割	—	154,400円	1,400円減
			—	39,800円	1,300円減
264万円	夫妻	2割	—	156,500円	11,700円減
			—	39,800円	11,600円減

後期高齢者医療制度に係る問い合わせ先 保健福祉課 保険グループ (35-2120)

風疹ワクチン予防接種費用を助成しています。

風疹ってどんな病気？

春先から初夏にかけて流行しやすく、発熱・発疹・リンパ節の腫れが起こります。大人になってから罹患すると重症化しやすく、特に妊娠初期の女性が風疹に罹患した場合、生まれてくる子どもの耳や目、心臓などに障がいが生じる先天性風しん症候群の危険性が高くなります。

職場で流行し、夫から妊娠中の妻に感染させてしまうこともあります。

妊婦さんや妊娠予定の方、配偶者の方、さらに周囲の方々には是非風疹ワクチン接種をご検討下さい。

対 象：1990（平成2）年4月1日以前に生まれた方

（幼児期に未接種または1回接種のため、風疹抗体が不十分な世代です）

方 法：事前に医療機関へご予約の上、受診してワクチンを接種して下さい。

持ち物 健康保険証（住所地の確認のために必要です）

費 用 全額助成（窓口支払いはありません）

委託医療機関

深川市立病院・津田こどもクリニック・深川市多度志診療所

東ヶ丘病院・たかはし内科消化器内科・児島医院・妹背牛診療所

北竜町立診療所・秩父別町立診療所

※上記医療機関以外で接種された場合は、予防接種費用を1度自己負担して頂いた後、役場保健福祉課にて払い戻しが可能です。あらかじめお問い合わせ下さい。（Tel 35-2120）



食育 NEWS 『野菜のお話』

厚生労働省は、成人が健康で生活するためには野菜を1日350g以上接種することを目標としています。しかし、全国平均283.1g/日しか摂れていないのが現状です。

Q：なぜ野菜は食べたほうが良いの？

A：野菜には健康維持のために大切な栄養素（ビタミン・ミネラル）が多く含まれており、生活習慣病や肥満の予防に役立つからです。

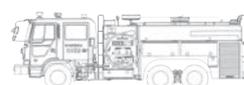
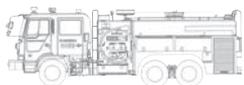


アスパラガス〈旬・春〉

葉酸、ビタミンB6、β-カロテン、アスパラギン酸、
ビタミンC、ビタミンB2

～旬な野菜の豆知識～

アスパラガスはラップで包んで、穂先が上になるように立てかけて冷蔵庫で保存しましょう。乾燥は大敵です！



沼田消防団が新体制になりました！

沼田消防団では4月1日、大原正己新団長より昇格者へ辞令が交付されました。また、2名の団員が新たにラッパ隊へ入隊しました。

本団人事異動

(昇格)

団長 大原 正己
副団長 小西 克典

第1分団人事異動

(昇格)

分団長 西尾 昌浩
副分団長 谷水 敏和
部長 飯田 恭司・廣野 辰也
班長 中野 宏秋・上村 昌樹

第2分団人事異動

(昇格)

班長 杉本 徹

ラッパ隊人事異動

(昇格)

副隊長 山田 昌希

入 隊

隊員 池田 透・小泉 英之



万が一の時、あなたは的確に行動することができますか？

消火・通報・避難誘導を一連の流れで行う総合的な訓練や、訓練用消火器を使用した消火訓練、煙の中を避難する煙体験訓練等の相談・指導を行っています。各事業所、町内会、商店等で避難訓練を行っていませんか。お気軽に消防沼田支署予防担当(35-2050)までご相談ください。



大切な家族や財産を守るため、住宅用火災警報器を設置しましょう。

『後にしよう その油断が 火事になる』



春の地域安全運動

みんなで築こう、安全で安心な大地

北海道警察では、5月11日から20日までの10日間、「春の地域安全運動」を実施し、自治体、防犯協会、事業者、防犯ボランティア等と連携して犯罪のない安全で安心して暮らせる地域づくりを目指します。

- オレオレ詐欺、還付金詐欺、架空請求詐欺に注意しましょう。

悪徳商法の被害にあわないためのキーワード 「悪質業者は、う・そ・つ・き！」です

- 『【う】まい話は信用しない!』の《う》
うますぎる話、絶対もうかる話などといったものには、大きな落とし穴がつきものです!
- 『【そ】うだんする!』の《そ》
ひとりで悩んだり、判断したりせず、家族・知人・相談機関に相談を!
- 『【つ】られて返事をしない!すぐに契約しない!』の《つ》
悪質業者は、言葉巧みに「すぐに契約をするように」迫ってきます!
- 『【き】っぱり!はっきり!断る!』の《き》
あいまいな返事はせず、キッパリ!ハッキリ!断る!
不安になったり、被害にあってしまった時は家族や警察署へ相談しましょう。

自転車の安全利用の促進

自転車も「クルマ」です!

自転車もクルマです。

ルールやマナーを無視した乗り方は、重大な交通事故につながることもあります。

正しいルールを知り、安全に利用しましょう。

「自転車安全利用五則」

- ① 自転車は、車道が原則、歩道は例外
- ② 車道は左側を通行
- ③ 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
- ④ 安全ルールを守る
- ⑤ 子どもはヘルメット着用

犯罪の発生状況

(平成28年3月末現在)

	空き巣	事務所 荒し	出店荒し	万引き	置引き	鉄板盗	自動車・ オートバイ盗	自転車盗	車上狙い	部品 ねらい	詐欺	軽油 灯油盗	その他	合計
平成28年				1					1				1	3
平成27年		2											1	3

交通事故の発生状況 (平成28年3月末現在)

町内における交通事故件数

	人身事故	物損事故
平成28年	1	28
平成27年	3	15

町民が町外で第1当事者と
なった人身事故件数

平成28年	1
平成27年	1

司書のイチオシ!

『手軽でおいしい!!』

もう少しでゴールデンウィークですね。連休でどこかへ遊びに行っても食事は家という方もいると思います。ですが、出かけるからの食事の準備はいつもよりも大変ですよ。

そこで今回は、簡単でおいしいレシピを紹介します。

その1.『炊飯器におまかせ。』です。チキンカレー・豚の角煮・肉じゃがなどメインになるおかずのレシピが載っています。出かける前に炊飯器に仕込んでおけば、帰宅する頃にはおかずが1品できあがっているので便利です。

その2.『電子レンジで基本とばしのヘルシーごはん』です。この本は、メインにもなるおかずから副菜・スープなど様々なレシピが載っています。電子レンジで調理すれば時間短縮になるので、いつもの調理に取り入れてもいいかもしれません。

その3.『オープンまかせで のっけて焼けばすぐごはん』です。下ごしらえした材料をオープンで焼けば出来上がりというシンプルなレシピが載っているのですが、手間がかかりそうな料理もこんなに簡単にできるんだと驚いてしまうはずです。

今回紹介した本以外にも、料理に関する本は図書館にたくさんありますので、図書館に来館された際はぜひ手に取ってみてください。



新刊図書

- | | |
|-------------------|--------------|
| 草雲雀 | 葉室 麟 |
| 神剣一人斬り彦斎一 | 葉室 麟 |
| 仮面病棟 | 知念 実希人 |
| 他力 上巻・下巻 | 五木 寛之 |
| 貧困女子のリアル | 沢木 文 |
| 終わった人 | 内館 牧子 |
| あこがれ | 川上 未映子 |
| おやすみ、ロジャー | |
| | カール=ヨハン・エリーゼ |
| ツンドラモンスーン | 森 博嗣 |
| まんがでわかる7つの習慣 Plus | 小山 鹿梨子 |
| 《児童書》 | |
| 日本の伝統競技 | 寒川 恒夫 |
| ぜんぶわかる!アサガオ | 渡邊 弘晴 |
| ポテトむらのコロケまつり | 出口 かずみ |
| サムライ最強図鑑 | 永岡書店 |
| おしれ電車 | 最上 一平 |
| ママはお医者さん | あさのあつこ |
| 父さんはドラゴン・パティシエ | 柏葉 幸子 |

新刊図書おすすめ!!

『たましいのふたりごと』 川上 未映子

穂村 弘



作家・詩人として日本文学の最前線を疾走する川上未映子と当代一の人気歌人・穂村弘が、ジャンル、性別、世代を超え、創作の秘密から恋愛観、ひとに言えない性癖まで、78のキーワードで攻めあつた迫真のトークセッション。

『死神うどんカフェ1号店』 石川宏千花



ガール・ミーツ・死神!? 体は蘇生したけれど、心は死んだまま。そんな希子が出会ったのは、死神がはじめたうどんカフェだった。そこで働く訳あり店員たちと希子の青春グラフィティ。図書館には1~3巻まであります。

家から図書館の本を検索しよう

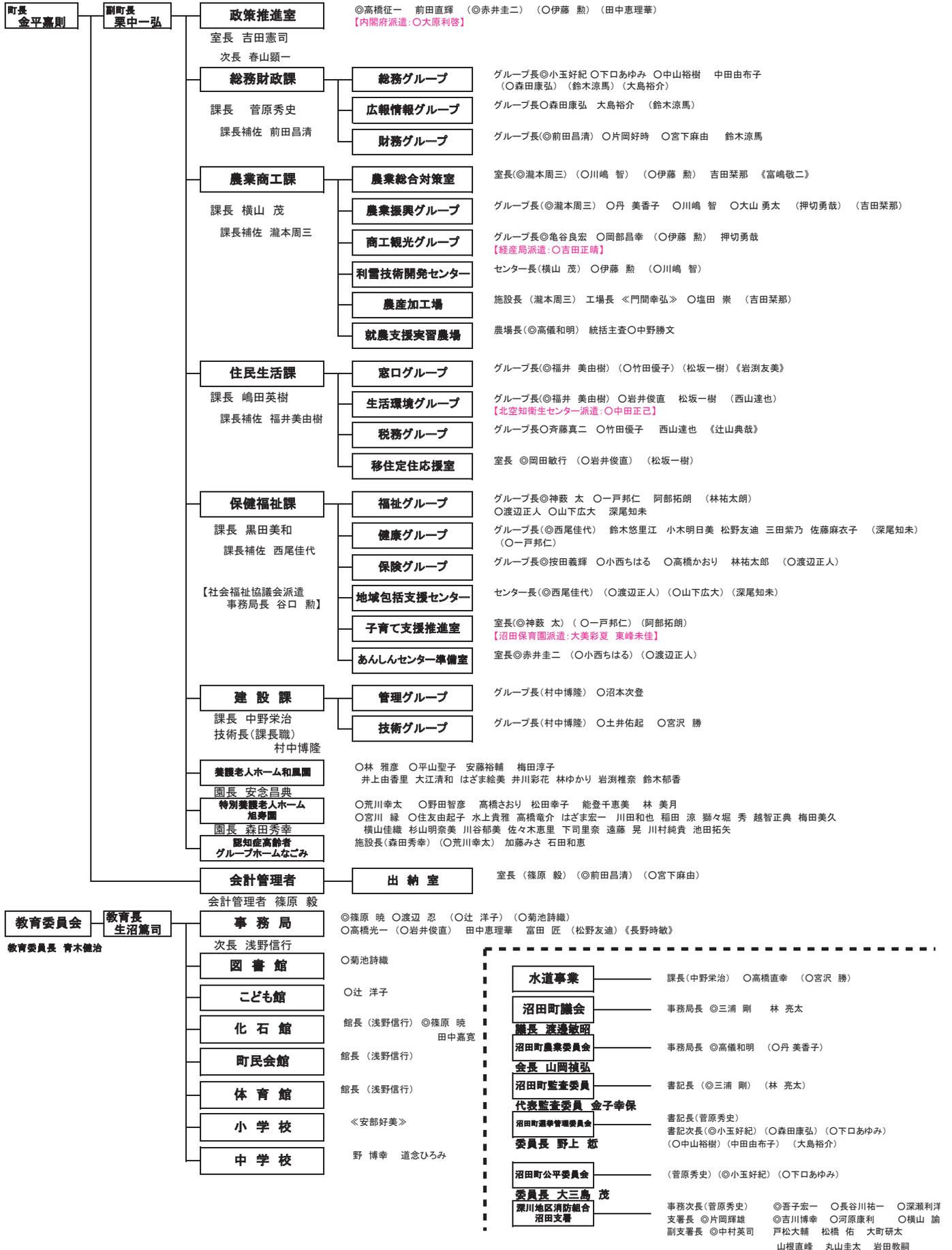
図書館にある本をインターネットで検索できるようになっています。検索は、沼田町教育委員会のブログのリンク集からどうぞ。

<http://blog.canpan.info/numakyoui/>

【沼田町機構図】

平成28年4月1日現在

- ◎ 主 幹
- 主 査
- () 兼 務
- < > 再任用
- < > 臨時・非常勤職員等
- [] 派遣
- { } 派遣同職員等





よしだ かなな
吉田 栞那

所 属：農業商工課
出身地：旭川市
趣 味：バレーボール・音楽
抱 負：沼田町に来て間もないですが、仕事にも生活にも早く慣れることができるよう頑張ります。



おおしま ゆうすけ
大島 裕介

所 属：総務財政課
出身地：北広島市
趣 味：バドミントン
抱 負：早く町民皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

新規採用職員の紹介

4月より沼田町役場で勤務しています、8名の新規採用職員を紹介します。



えんどう あきら
遠藤 晃

所 属：旭寿園介護士
出身地：深川市
趣 味：ドライブ
抱 負：ケアマネの資格に合格することです。臨時職員から正職員になったことで今まで以上に責任感をもって頑張ります。



の と ち え み
能登 千恵美

所 属：旭寿園看護師
出身地：苫前町
趣 味：水泳
抱 負：早く新しい環境に慣れ、他の職員とスムーズに仕事ができるよう連携していきたいです。



はやし みづき
林 美月

所 属：旭寿園栄養士
出身地：深川市
趣 味：旅行
抱 負：早く沼田町に馴染めるよう頑張ります。よろしくお願い致します。



まつだ さちこ
松田 幸子

所 属：旭寿園看護師
出身地：北見市
趣 味：なし
抱 負：早く環境に慣れて、仕事ができるようにしたいと思っています。よろしくお願い致します。



い け だ た く や
池田 拓矢

所 属：旭寿園介護士
出身地：札幌市
趣 味：釣り・サイクリング
抱 負：利用者様に気持ちよくなっていたりするような介護士になりたいと思っています。



かわむら じゅんき
川村 純貴

所 属：旭寿園介護士
出身地：札幌市
趣 味：ドライブ・お酒
抱 負：札幌から来てまだ沼田についてわからないことが多いですが、頑張ります。

地域おこし協力隊の委嘱 !!

4月1日(金)、新規採用として着任した地域おこし協力隊の花田知幸さんへ委嘱状が交付されました。

花田さんは、旭川市出身。今後は沼田町観光協会で観光支援員として観光に関する業務を行っていきます。



Cover —表紙の写真—



沼田小学校で開催された入学式での一コマ。
式が終わり緊張がほぐれて教室に戻るところです。【4月7日撮影】

人の動き

(平成28年3月31日現在)

人口 3,208人 (前月比 △24人)
男性 1,513人 (前月比 △16人)
女性 1,695人 (前月比 △8人)
世帯数 1,534世帯 (前月比 △9世帯)

■総人口増減内訳

増加) 転入: 20人 出生: 1人
減少) 転出: 41人 死亡: 4人

交通事故死ゼロ

(平成28年4月27日現在)

1,389日継続中!!

出生 誕生月日 両親の名前
下家 優菜ちゃん 3月25日 隆志さん・澄恵さん

うぶごえ

氏名	死亡月日	年齢	住所
井上 せんさん	3月9日	99歳	旭町東
畠山 てるさん	4月3日	110歳	旭町東
吉本 清さん	4月4日	67歳	旭町東
篠田 繁彦さん	4月8日	74歳	旭町東

おくやみ

お詫びと訂正

前回の広報3月号3頁で掲載しました「NECレッドロケッツに沼田中学校卒業の廣瀬七海さんが入団」の記事内で、廣瀬七海さんの出身行政区が(高穂)になっておりましたが、正しくは(市内一北)の間違ひでした。ここにお詫びして訂正いたします。

広報情報グループ(森田)

〜広報担当のしづやま〜
皆さん!はじめまして!
今月号から広報の担当となりました。森田です。
実は、今から25年前に広報誌を作成しておりました。四半世紀ぶりの担当です。
当時とちがって今は、専用のソフトウエアを駆使してパソコンでつくりあげる作業です。
まだまだ、操作になれていないので、見づらい点、わかりづらい点などあると思いますが、しばらくお許しただければと思います。
それでは、今後ともよろしくお願ひします。